（明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年四月廿三日（金曜日）　第九十號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論（十一）

▲吉原副總裁▼（四）　翠山

四十一年秋西園寺内閣瓦解し、桂内閣其の後を襲ふや氏は原氏と進退を共にし職を辭して民間に下りしが若し當時の新内相平田氏にして氏の留任を望みたらんには氏は或は依然として其の職にありしやも知るべからず、何となれば氏は從來所屬せる一定の系統なく從つて何れの人が自巳の風上に立つと雖も敢て意に介するもののなきを以てなり而も新内相平田氏は殊更に氏の辭職を衷びたるには非ざれど唯其の見分たる一木喜德郎氏を其の后任に箝め込まんとする下心上默然として氏の去るに任したる而已、果然一木氏は其の後を襲ひ氏は無爲閑散の身とはなりたり而して氏が一時たりとも官界より足を拔きしは前にも後にも此の時が初めてにして之れ即ち氏の生涯に一區劃を印せしものといふべし、思ふに人生は如何なる千遍一律の人と雖も一生涯中一度は必ず一劃の段落來り、一轉の變化生ずるものなり而も人生の多くは此の段落と變化とに依りて新たにヨリ以上の運命を開拓するものと意外の不遇に陷るものとあり、而して當時氏が多年游泳せし官界を去りて無爲閑散の境に入ると同時に將來如何なる階梯に向つて向上の足を踏み掛け如何なる運命に向つて開拓の手を下すべきやといふ心の思慮は得て知る能はざるも兎も角も彼の山林に吼號する猛獅が默然として暫時清閑の境に眠を樂むが如き素懐を有せしに非ずして左思右考徐ろに機の到らんことを期待し居りしものの如かりき。

其の後東洋拓殖會社設立の議決定し宇佐川一正氏が總裁の任に就くや氏は副總裁として撰ばれ愛に新なる運命に入るの人とはなりたり、而も當時副總裁としての候補者は知々に多く併せて之が人選に困難を極め氏の如きは初めより其の選に加はり居らざりしが何れも帶に短かし襷に長し的にて恰當なる人物なく從つて其の果てが回はり回はつて終に意外にも氏の双肩に落ち來りしなり、思ふに之れ氏の人物が敢て卓絕せる當路者間にあつては却つて弁を可とし其の任に推したる所以なるべし然れども氏が其の任に選ばれたる所以に就ては其の間自ら之が先登の較推なくんばあらず而も之が先輩の人物に就ては果して何人なるや余輩は不幸にして得て知る能はざるも人情の自然より想察して當時の内相平田東助氏の盡力に俟つ所蓋し鮮少ならざるべきやを思はずんばあらず、之れ他なし、曩に氏が内相交迭の際、吉原氏の辭任を好機とし强ひて一木氏を推したる義利合はればなり

文苑

●十句　千春

箱すしや言葉少なき女客
若き妻鮓作るべく本を讀む
病癒てすし押す妹の手の白き
すしの香や青鞋ほどの紅生姜
鮎鮓や花の吉野の早泊り
何事も鹽加減なりすしの味
兒を孕む樣にふくれて雀ずし
すし店や松の青きに古すだれ
鮓店や柳につなぐ駒五六
詩となつて遂に盡きけり李家の鮓

俳句

●…これでも詩か　春子

春雨のシト／＼と降る
何となく詫びしい晩だ
默然と、机に倚るこ
洋燈の灯がジリ／＼燃えて
花瓶の李が散つた……音もない
ああ、何んとなく佗びしい晩だ

○

窓の前に陽炎が燃える
隣の庭に花が咲いて居る
深貧が雲雀をしちよる
兵隊さんが喇叭を吹いて通る
硯の水は乾いてしまつた

佐倉宗吾（六十二）

眞龍齋貞水講演



そこで七十人の庄屋は、堀田大和が腹を切る前に、解散を申し渡されたるに依て、銘々麻布の御下屋敷から出されまして、六人の名主の居る處を尋ねたが判らぬ、仕方がないから、一人、二人、五人、三人と、皆な急いで郷國を指して立歸る、然るに國表へ歸つて見ると、將門山へ大勢集つて居るやうな騷ぎだから、如何して此樣な事に成つたかと尋ねると、印旛沼の辰右衛門が歸つて來て、皆なが御處刑に成つたと云ふ事を知らせたから、此始末だと云ふ、イヤそれや大變だ、とんでもない間違だ、此事に就いては、堀田大和樣が、どの位御心配して下されたか分らぬ、それはマア困つた事をしてくれたと云ふ事に成つた、サア之を聞いた印旛沼の辰右衛門が、こいつは俺はやまつたと思つたから、御城中へ駈込みまして、終に役人の手に掛り、御處刑に成りました、そこで辰右衛門が御處刑に成ると同時に、百姓の方は、夏根早苗の屍骸を漸う夜中ひそかに將門山から降して葬りました、是から云ふものは、地方役人も怖く成つて、迂かり百姓に手を着けられない、滅多な事をして怨みを買うと、何日何時外へ出する所を、打殺されるかも知れぬから、此度の一件も、單に辰右衛門の處刑だけ

止めて、此趣を江戸表へドン／＼注進を致しました、所へ殿樣は、堀田大和、川越播磨の兩人が、既に腹かつ切つたのも御存知なく下城に及んで 殿「大和並に播磨の兩人は、既に國表へ出立に及びしか」と御尋ねになると、先頃兩家老が切腹したと云ふ、此處で堀田上野介、兩家老の忠死を遂げたる事に顧みて、領分の百姓に安堵させ、國表の惡人を擒押へ、六人の庄屋等にも、それ／＼御手當でも下し置かれたならば、堀田家十八萬石は無事に全ふする事が出來たのであります、然るに殿樣は、その一大事を御聞き遊ばすと、烈火の如く御憤りに成つて「斯る騷動出來しは、家老等を亡ふと云ふのは、皆な六人の庄屋の奴等が、願書を以て江戸表へ來り、門訴なぞを致すからである、此上からは六人の庄屋を尋ねて、重き處刑に行へ」と仰せ付けられました、堀田家江戸詰の役人は、殿樣の御一言、捨置き難いから、八方へ手配りを致しまして其事を[illegible]の伊勢屋平兵衛の土藏の二階を借りて潜んで居りました六人の名主が聞いて「迚も斯りや仕樣がない、外へ出れば堀田役人に縛取られて仕舞うと云つて國の容子を探れば、國表は再び起る將門山の一揆、夏根早苗は殺され、辰右衛門は御處刑、何の面目あつて、生きて郷國へ還られやう此上は飽迄も此願ひを貫き通して郷國へ歸るより外仕方がない」と、孰れも悄然として居るを宗吾が「さて斯うしての」江戸へ出て、殿樣へ願ひを上げたから、最早御處濟になつて十有餘年の領分百姓の難義を御救ひ下さるかと思ひの外、依賴に思ふ堀田大和樣は御切腹、實に堀田家の行末も思ひやられるが、さて國表へ遣して吾々の妻子、その他の者も、定めし首を長くして吾々の歸國を待つて居るであらう、併し此儘すご／＼歸れないから、私は大に決心して居りますが、五人の衆は如何でございます」と云ふと五人の者は「イヤ宗吾どんの云はつしやる通り、何の面目あつて吾々生きて國へ還られませう、斯う成つたら私共、死は諸共でございます」と云ふ決心 宗「それぢや此上は仕方がないから御大老の酒井雅樂頭樣へ御願ひ申さうぢやございませんか、我代り御大老へ御駕籠訴をするのだから、何んな眼に逢うか知れないが、元來生命を捨てゝ、百姓の難義を救ふと云ふ覺悟だから、そこは皆樣御承知でございませう」と云ふと、五人は「勿論今となつては、生命など惜む所でございませぬ」と、堅き決心を示しましたから、それでは其事に致しませうと、愈よ六人が御大老へ御駕籠訴と決心いたしました



제90호 1909. 4. 23.

京城新報

韓國の貧民問題

爲政者に注意す

何れの國に於ても貧民問題あり、貧民救助の方法に就ては古來政治家の苦心する所なり、儒敎は民に貧窮なきを仁政となす、然れども社會の實態は此意義に反して、文明の進歩と共に富の分配に變化を生じ、貧富の懸隔を大ならしめ、從て貧民の增加せるは眞に悲むべき事なりとす、之れ優勝劣敗適者生存の理法にして止むを得ざるも、極端なる自由競爭の弊も亦なしとせず、之を矯正する爲に各國が頻に社會政策に意を用ひつゝあり、極端なる自由競爭を制限するの可否問題は今や世界を通じての懸案問題となりつゝあり

抑も文明の貧民とは如何なるものなるか、何等の職業をも有せざるものを稱して貧民と云ふ、敎育あり技術あるも職業なければ貧民なり、要するに職業を與ることは貧民を救助する唯一なる良法なり、然るに古來何れも其救助と云へば金品を施與して一時の饑餓を救ふが如き極て消極的の事をなし以て得たりとするが如き傾あるなり、英國の如きも貧民法なるものありて、貧民救助は常に時の政府の大問題とせらるゝも、其救助の方法や多く消極的に傾きて積極的ならざる爲に其結果は却て貧民を造るが如き奇異なる現象を呈する傾向を來たせり、獨り英國のみならず、佛獨其他の邦國に於ても此例に乏しからず、

支那日本の如き儒敎の感化を受け居る國に於ては、殊に貧民救助を以て仁政の一となせるより消極的救助の行はるゝ爲に却て貧民を起すが如き結果を見る、余輩の出身地水戶の如きも義公が朱子學を奬勵し、貧民救助に重きを置きたりき、然れども其目的の良好なるにも拘らず、等しく同樣の結果を見たるなり、韓國の如きも儒敎の感化に依り、昔より仁君なるものは治下に饑餓の民なからしむるを標榜したることは舊記に徵して知るを得べし、果して之を實行したるや否は素より余輩の知る所に非ず、

頃者韓國に於ても貧民救助の問題は喧囂たるに至れり、地方官により有志者なるものに依り貧民救助の必要なることを政府に建言するもの多しと聞く、實情に通曉するものは更に驚かざるも、韓國政府部內に在る日本人官吏にして實情に通せざるものは之を聞きて驚き騷ぐものなきに非ざるべしと雖も、余輩の見る所を以てすれば、韓國の貧民なるものは一種の懶惰なる乞食の徒にして、農作の豐凶、經濟上の變動、政治上の變動等に依りて生じたる貧民に非ず、彼等が動物に等しき生活狀態の事實よりして考れば決して不慮の災害より來る貧民に非す、然るを地方官等が儒敎を形式的に應用し、美名の下に針小棒大の報告をなし、之を以て人望を購ふの具に供せんとするに過ぎざるなり、保護政治の變化に職ぐ非似有志の辯言なり、彼の文川郡饑饉の如きは其評判は非常に高かりしも、余輩の調査に依れば其實は左程の事にあらず、一棟燒けるも火災なり百軒燒失するも火災なり、饑饉も亦之と同一なり、其程度をも辨せずして僅なる事を誇張して騷ぐ地方官等の爲に瞞着も亦誤らるゝなり、救助なる美名の爲に惑さるゝもの世に多きは余輩の遺憾とする所なり、

若しも地方官や非似有志の騷ぐが如く、實際夥多の貧民ありて救濟せざる可らずとせば、政府は之を打捨て置くてとなく救濟するの道を講ずべきも、徒に懶惰なる乞食の徒に金品を與ふるが如きは何等の益なきのみならず却て害ある也、亦職業を與るとても姑息的に利益もなき事を人爲的に與るは非也、曾て余輩が論じたる如く、金融組合を增設して金融の圓滑を計り、道路を修築し通運業を起して物貨の集散に便ならしむる等經濟狀態の改善に依り、自然に救濟する積極的の方法に據らざる可らず、徒に宋襄の仁を以て彼等乞食の徒に良民の膏血たる國庫の財を給す可らず、斯の如きは却て乞食の增殖を奬勵すると同一の結果に終るべき也、

●韓國の鐵山　巡回歸朝せる巨智部博士は十九日下の關に著し語りて曰く[illegible]そ北漢炭鑛の附近に製鐵所を設立すべしと[illegible]試驗の結果極めて良好なることを確かめた[illegible]調査に待たざるべからず製鐵所の設立は炭[illegible]べきは外國人の鑛山に投資せんとするの計[illegible]爭して從事しつゝあるも鑛山事業は棄てゝ[illegible]に乘じて韓國在留の外人は倫敦、紐育其他の資本家と通じて計畫を進めたるものなる[illegible]が韓國にれける此有利なる富源を拋棄する[illegible]

東京電報

▲日糖議員拘引　日糖事件に關し新に代議士の拘引せられたるもの西村與太郎、木下謙二郎、島津義知(か)の三名にして合計十六名內政友會十二名大同倶樂部進歩黨各二名なり

▲瓦斯會社と事務所　日韓瓦斯會社の本社は東京に置き營業事務所丈京城に移さる(以上二十二日發)

外報一束

●土領の大虐殺　小亞細亞のアドナ市に大虐殺起り爲に英國領事は負傷し數百名の基督敎徒は殺戮せられたり、尙暴動はベイルート、エルゼルーム兩州に傳播すべき虞あり

●露國の新軍港　露國政府は新海軍根據地としてクロンスタット軍港の代りにスヴヰアボルグ(芬蘭南岸)を選定せり而してヘルジングフオルス市(スヴヰアボルグ北方にて芬蘭の首府)附近に於て廣太なる土地の買入契約締結せられたり

●米國海相演說　米國海軍卿はボストンに於て演說し米國は各大洋に於て大西洋同樣に戰鬪艦隊を備へざるべからずと言明したり

●露國外相留任　露國外相イスヴォルスキー氏の位置は再び鞏固となれり

●墺帝軍隊慰籍　墺國皇帝は戰爭の危險既に過ぎ去りたるを以て軍隊に勅語を下し今回の軍隊の態度の卓越なりしを感謝せられたり

●露艦隊の內薄　ボスフオラス海峽入口に露國黑海艦隊接近しつゝあり

●綿糸課稅解決　長春商務總會と三井物產會社との間に起りし綿糸課稅問題は彼我の交涉圓滿に解決するに至れり

●煙草販賣解禁　吉林の日本煙草販賣禁止事件は我强硬なる抗議に依り解禁せられ且當局官吏は相當の處分を受くべし

雜報

●皇室債務處分發表　臨時財產整理局にて審查したる皇室財務の處分は大略其の處理を決定したる由にて近日の官報に揭載する筈なるが左記二十二件の分は支拂の理由なしと決定したるものなりと云ふ

林澤成(淸國人)閔泳雨、朴警善、岡田重之(日本人)金鍾源、金顯聲、藤井折枝(日本人)元京烈(外二人)河致雨、梁漢根、太致善(外一人)朴勝俊、姜文卿、李根培、金孺永、趙觀允、康永勾、權丙善、成夏植、エルコルタム(佛國人)金俊植、趙慶濟

●東拓貸附と運動　東洋拓殖會社は貸附規定の認可を得ん爲め目下統監府に申請中なるが其貸金僅々五十万圓にして如何にしても申込者の全部に行渡らざるを以て一部の申込者は頻的運動の度を高めつゝありと東京の有力なる新聞紙は報せり

●國債の抽籤執行　明年六月の返還期限なる韓國々債二百萬圓の內一百萬圓を近日支拂ふべきことは既報せしことなるが其抽籤は去る二十日東京第一銀行本店に於て執行したるに就き當選番號は一兩日の中通知し來る筈なれば新聞紙に廣告して國債の一般所有者に知らしむる筈なりと云ふ

●地方費會計規則　地方費法は愈々五月一日より實施さるべきに就き之れが會計規則は實施同時に制定せられざる可らざるを以て法令審查會は不日該案の審查をなすべしといふ

●漁業出願ご調査　目下發許漁業の農商工部に出願に係る數は既に五十餘件に達し尙ほ續々出願者ある可きは既報の如くなるが未だ水產局に於て實地調查を行ふの運びに至らざるも本月下旬若くは來月上旬頃には多分之を行ひ得ることゝなるべしと云ふ

●鑛業所の擴張計畫　平壤鑛業所にては先日木內次官及和田博士の視察したる結果として擴張を爲すべきことは既報の如くなるが現在の鐵道を二哩丈延長せる上に鐵索を架設して運搬の補助を爲しダイヤモンド附の鑿岩錐(此價六萬圓計り)を使用して炭脈を調査する等此經費約十五万圓の豫定なるが資金の出所無き故荒井度支部次官の歸任したる上にて決定する筈なりと云ふ

●郡守の資格審査　各觀察使より推薦したる郡守候補者は不日開會さるへき地方官資格審査會に於て其資格を審査すべしといふ

●兩道驛屯土小作料　平安兩道及び黃海道の三月末驛屯土小作料は其徵收額現金にて五万二百六十一圓現品にて四萬六千六百二十石の由なり

●稚蠶共同飼育組合　同組合にては蠶種の催靑日より蠶兒の三齡まで共同飼育を爲し養蠶敎師巡回して之れが指導を爲し以て各當業者に分配すべきものなるが勞力及び經費の節減と技術の傳習とを一般當業者に受得せしむべき利益あるものなれば農商工部に於ては相當の補助を爲すべき筈にて其金額は近々決定する筈なるが目下其補助金を申請せるものは平安南道二ヶ所にして全南方面よりも申請し來れるものある見込なりと

●平南道勸業品評會　觀察道主催の平南勸業品評會は愈々來る廿七日より五月三日まで大同門樓上に於て開會するとの事なるが同會の經費は八百圓餘にして外に農商工部より三百十圓の補助あり合せて千餘圓に過ぎざれば其の規模を小にする筈にて出品豫定數の如きも二千五百點とし其の種類は農工藝品及び農鑛產物等と定めたるに意外にも出品者多しとの事也

●牛疫地ご卒業生　先般水原農林學校獸醫科卒業生の內八名は今般農商工部に採用の上牛疫流行地の咸鏡北道へ向け出發せしむる筈

●漢城府內の治道　本年度の豫算に計上したる漢城府の治道費中にて東大門外中浪浦に長さ六十三間の橋を架設することゝなりたるが其受負金額は五千余圓にして本月中旬より起工九月を以て竣成の筈なりといふ

●慶山地方昨今狀況　同地方米穀の出荷は近來多きを加へたるが如し買入相場は玄米六圓二三十錢大豆三圓五十錢大麥三圓二十錢見當なり每市の出穀數は大凡千俵內外、一月より四月迄の當驛輸出穀數は約五萬叺にして尙四万叺位の殘餘ある見込なり次に雜貨の賣行は捗々しからず商狀沈靜なりと尙ほ目下の居留民數は百八十余名ありと云ふ

●執務規程ご外人　處と人とに依り其取扱を異にしたるの觀あり司法警察事務も過般發布の司法警察官執務規程に依り之を統一し得るに至れるが右は單に內國人に對する取扱を規程せるのみにて治外法權を有する外國人に關する分は別に之を制定する筈にて既に法部に於て草案の脫稿し二回の審査を行ひたるが勢ひ愼重の研究を要するものあれば尙は數回の審議を遂げたる上ならでは確定公布に至らざるべしと云ふ

●暴徒首魁の潛伏　京畿道豐德郡を根據として附近の良民を苦しめつゝありし李殷瓚(過日龍山に於て捕はる)の副將鄭奉錫、延基浩は此程來大いに企劃さる處ありて延基浩は兩三日前入京目下兩部管內に潛伏して京城の狀勢を探知しつゝありと

●ハルバートの渡韓　先に海牙會議の際韓國代表者承認運動をなし爾來演說に筆に常に日本の對韓政策を攻擊しつゝありたる米國人ハルバートは前日米國シャトルにあり遠からず加州チコの長老敎會牧師ホワヰト氏と同行にて韓國に來る豫定なりと

●ベッセルの危篤　例のベッセル氏は過日來病氣に罹かり目下自宅にて療養中の由なるが數日前より病勢頓みに加はり頗る危篤なりと云ふ

●家屋稅實施ご請願　慶北盈德郡は家屋稅を賦課さるべき地域內に編入せられたるを以て同郡人民は之れが取消方の請願書を提出せんとて目下運動中

●韓國の地主と小作人　韓國の地主と小作人との關係は今や日本人の內地に入りて農業經營に從事せる者の多きと東洋拓殖會社の如き農業經營者には最も知るを要すべきものなるが近頃度支部にて調査したるところを聞くに

▲江原道春川　地主と小作人とは小作人變更年々頻繁なるが爲めと又地主の利益壟斷に過ぐる點ある爲め年所の久しき親密の關係を保持し互に相倚りて土地の改良を計るが如きことなく其の關係實に無味冷淡なり

▲慶北大邱　兩者の間柄は小作年限不確實の狀態なるを以て永久不變の親善あるにあらず只小作人は小作關係の存續する間は地主の門に出入して地主の意を迎ふることに汲々し地主は從僕視して種々の用務を命し小作人は唯々として之れに應ずるも一朝小作關係斷絕せば敢て地主を知らざるもの〻如きは自然の狀勢なり而して地主一變意を決して移作の心發すれば小作人が如何に窮境に陷るも敢て顧みず種々の口實を設け移作を斷行せざれば止まざるが故に相互農作改良發達を企圖する者皆無なりと

▲平南平壤　小作人等が地主の意を迎へて自己の利便を計らむとするは一般の傾向なり從て之が爲めに地主に對し好意的に勤勞する者ありと雖も一般に地主の宅に於て事ある時には地主は小作人をして無報酬にて之れを爲さしめ小作人も亦甘んじて就業する慣例なり

▲全北全州　全州地方も亦兩者の關係は日本に於ける如く密接ならず之れ小作權賣買の習慣存在に原因するものなり

▲全北錦山　地主の權力强大にして常に小作人を屈服せしむるの弊あるにより小作人は只管小作權の解除を畏れ事の是非に關せず唯々地主に盲從するのみなれば相互信愛の觀念毫もなし(以下次報尙五地方あり)

●企業會社重役改選　京城企業株式會社は從來社長に古城管堂氏專務取締役に中村再造氏就き居りしが今回重役互選の結果社長に山口太兵衛專務取締役に和田常一氏當選せりといふ

●釜山最近の戶口數　釜山最近の人口及び戶數は男九千二百三十四女七千八十二、戶數二千九百四十なるが草梁には男一千四百四十七女一千六十ありと之を昨年末に比較すれば男三百三十五人女二百二人を增加せりと

●金海繁榮會發會式　慶尙南道金海にては今回日韓人の共同を以て公園の創設、植林、果樹の栽培、養蠶、牧畜、道路改修、養蠶改良等の目的を以て金海繁榮會なるものを組織し過日發會式を擧げたりと

●火災の煙筒の改良　平壤にては近來出火多く而も之が原因は大抵宍溫煙筒より起る依り平壤警察署にては茲に注意する所あり火災豫防のため韓人家屋に於て往々見るところのアンペラ又は呉座類を以て作れる煙突は此際悉く之を鐵力若くは亞鉛類に改めしむることに決し目下之を勵行し居ると

●釜山商會特別議員　廿日釜山商業會議所に於て特別議員の選擧會を開きたるが其の結果左の如し
十二票佐々木淸麿、十一票福永政次郎、十一票武久捨吉、十一票佐藤成敎、…

●度支部官吏山遊　度支部各局の高等官及判任官一同は來る二十五日の日曜日をトし冠嶽山に上り山遊びをなすといふ

●學部幼々會の開會　學部幼々會は五月二日の第一日曜日を以て例會を開く可き筈にて目下會場等の選擇中なるが當日は俵次官以下學部員一同及其家族等參會の筈なり

●警視總監の招宴　若林警視總監は昨夜花月樓に各次官以下高等官を招待して晚餐會を催はせり

●鈴木局長の歸任　豫て母堂の訃に接し東上中なりし鈴木司稅局長は二十二日朝南大門着列車にて歸任せり

●和田警視の歸任　昨日仁川に入港したる群山丸にて過日來全羅視察の途にありし內部和田警視は仁川に上陸歸任したり

●仁川署員の歸任　仁川警察署詰野村警部は揚州警察署長病氣の爲め去月末同地に出張中なりしが一昨夜歸任せり

●服部暢氏の出發　氏は一昨夜十時十分の南大門發列車にて歸國の途に就きたるが見送り人却々に多かりき

●能島進氏の出發　電報通信主任の同氏は既報の通り一昨日の夜行にて東上の途に就きたるが新聞社員及び知己の見送り之れ又却々に多かりし

●褒賞下賜　漁船第一豐運丸船長岡本長太郎は去月二日甕津、淸津間航行中淸津の沖合に於て韓人漁船將さに沈沒せんとするを發見し救助に努めたる廉により二十一日附を以て會寧副統監より褒賞を下賜さる

●敍任辭令
補江原道警察部長兼春川警察署長　警視　今村鞆
補忠淸北道警察部長兼淸州警察署長　警視　坂東榮次郎

公人私人

▲遠藤豐三郎(陸軍三等主計)　二十一日大邱に向ふ
▲津村龜三郎(步兵第四十聯隊第十中隊長)　同日釜山に向ふ
▲工藤勇次氏(太田居留民總代)　二十一日入京不知火旅館

近事片々

▲東拓の林理事驛屯土調査の爲に地方に行く事情に暗きを以て調査頗る困難を極む
▲或る韓人に驛屯土の事を質問すヨボは恍げて不關焉を極込む理事君亦大に悄げる
▲理事君勇を皷し更に何人に問はゝ分明するやと質すヨボ欠伸一番韓政府に問へと
▲流石の理事君も理の當然に啞然たりと
▲米國が比律賓群島を領有してより敎育は自ら踏る所也事情に暗ければ先づ其通曉を盛にしたる結果土民勞働を厭ふに至ると
▲末開國民を感化するに高尙なる學問を敎ゆるの可否は大に研究すべき問題ならん
▲比島土民が敎育の爲に獨立思想を起し勞働を嫌厭するに至るとは大に鑑むべき也
▲自巳の及にて自巳の首を斬るが如き例は何事にも能くある事ぞ須く戒愼を要す也
▲平和の爲には領土民を壓するも亦機宜の所從也要は寬嚴宜しきを得るにあるべし
▲韓國に對する日本の施設は如何敎育の點抔は大に考ふる必要あり是則ち平和の爲也
▲敎育の爲に排日思想を起し或は宗主國に敵意を持つが如き事にならざるを要す矣
▲若し敎育したる爲に平和を攪亂するが如き事あらば寧ろ敎育せざるを宜しとなす
▲佛國が安南チュニスに對する或は獨逸の殖民地政策を能く對照研究するを可とす
▲韓政府各部の宴會近頃諸所に催さる京城は何處迄も宴會流行也とは京童の惡口也
▲而も其宴會に階級のあるのが面黑い第一は花月樓第二は淸華亭第三は梅の家也
▲各道主事や會計の如き下役を招待するには梅の家となる隨分階級を附けたる者也
▲露國は英獨の衝突近きにありと見込み英に應援する爲め戰鬪準備を爲すとは異乎
▲英國の海軍は强きも陸軍少し故に露國は陸軍を以て大に獨を制すべしとの[illegible]
▲英獨或は獨露の衝突は或は近き將來に於て免れざらん乎果して衝突せば大勢一變
▲日糖事件の爲に召喚せられしとの說あり竹越三叉の事は全く誤傳なりしと云ふ
▲三叉訪者に答て曰く當時余は障壁にて何等の相談も受けず落花を見て嘯けど

韓國に於ける當業者の參考に資する爲め左に日本全國三月中に於る綿布の成績を掲ぐ

會社名	種類	出來高
內外綿第一	朝鮮木綿	四〇、八〇四
同第二	天竺厚綿	五八、六四〇
[illegible]	[illegible]	一、二九、七七七
三重	天竺金巾組布	四、五七四、一二七
和歌山	綿ネル服地	[illegible]
堺	小巾白木綿	[illegible]
合計		[illegible]



●一夜に强盜二件

▲東署管内の物騷

一昨廿二日午后十一時頃京城東署管內□□洞三十五統十戶金洪基方へ黑服を着し何れも刀を携へたる五名の强盜押入り衣類若干を强奪し又同夜午前〇時同管內沈洞四十統二戶朴召史方へも竹刀を携へたる三名の强盜押入りしが內二名は白の韓服を着し一名は紫色の韓服を着し居りたり而して朴方へ押入りし賊は何物をも取得ずして立去りたりと何にしても物騷千万なる事と云ふべし

●贋六神丸の行商

▲日淸人共謀の詐欺手段

古いやうで能くわる手段の共謀詐欺は昨今釜山に入込める六神丸行商にて此程同地長手通り龜井藥店に一人の紳士めいたる日本人來り支那六神丸小函百二十粒入十個詰にて價格七十五圓位のもの十函(代價七百五十圓)を內地に持歸るに付至急調へくれよと申入れたるが應對の樣子什麼にも怪しければ宜き程に遇らひて返したる后二三時間を經たる頃一人の淸國人が同店を訪ひ六神丸の買入を勸めて代價を十五圓內外までも低減するにぞ偖は先刻の日本人と共謀して贋造六神丸を賣付けんとするものに相違なしと認め體よく謝絕せし由なるが六神丸は有名なる妙藥にて價格も小函十箇詰が十五圓內外の廉價に販賣さるべきものに非ざれば畢竟原價三四圓の贋造藥を以て巧みに賣付けんとしたる狂言早くも判明せし次第なるが斯くて彼れは追々當地方へも入込む模樣なりと云へば何れも注意すべき事共なり

●人民郡守に迫る

▲堤防を築きしを憤りて

去る十六日慶尙北道慶山郡民約二百名郡衙附近に會合して喧々囂々ひしめき居る樣只事ならじと調査したる處によれば該人民は郡內北面より來りしものにして大邱會合の理由は河陽郡より北面に流下する川の上流に河陽郡守は堤防を築き北面に流下の水を防ぎて自己の水田灌漑を便ならしめんとしつゝあるは下流人民の水利を妨げ同郡守が私利を目的としたるものなれば其行爲を停止せられたしとの趣旨の請願書を慶山郡守に提出の爲め會合し居るものなる事判明したれば郡守は該請願書を受理し實地調査の

●姦夫姦婦の本夫殺し

▲兩人共死刑に處せらる

朝鮮に良夫殺しの多きは注意すべき事なるが咸鏡南道專遠郡長興面光城洞の鍮物職金洛淵の妻片召史(二三)といふヨボ女は子供のあるのに夫の目を忍びて同郡大白面立石洞の金輔賢(二五)といふ若造と密通し金が居ては自由に樂むことが出來ぬ處から大膽にも良人を殺害せんとの不量見を起し之を姦夫の輔賢に計ると同じ不量見者の輔賢一議に及ばず同意し或日金が所用にて他出したるを片召史は機こそ至れりと輔賢を自宅に呼び寄せ色々談し合はせ斯くと數日の後金の歸宅したるとき片召史は姦夫にソレと內通して邸內の納屋に潜ませ良夫金には酒を强ひ黃昏に及んで姦夫に夫れと目配せ己れは故らに子供を伴れて隣家に避け金が泥醉して混突に大の字になつて居るところへ輔賢は砥ぎ澄した小刀を携へて闖入し金の面部頭部、腹部の十數ヶ所に重傷を負はせ終に之を殺害し屍体は其夜何れかに人知れず埋め夫より兩人は何喰はぬ顏して淫樂に耽りオヤれ宅の金さんはと他人の問ひしときは他出してまだ歸りませんよ杯と澄し込んで居たが斯る大罪を犯して何時まで知れずに居る道理なく竟に憲兵分遣所の耳に入り姦夫姦婦は縛てフン捕まり平壤地方裁判所にれいて兩人とも死刑に處せられたる不量見の兩人は之を不當なりとし平壤控訴院に控訴したるため控訴院にては審理のうへ去る十六日同法廷に於て原判決通り死刑に處する旨宣告ありたりと

▲臺所の量器▼

出入の米屋が升目を誤魔化すのは有勝ちのことですがさりとて持つて來た都合升で量り直すと云ふことも實際面倒で行はれないことですから豫じめ米櫃に印をつけ五升はこゝまで一斗は何所までと云ふ工合に五升毎に印をつけ置けば便利で幾らか誤魔化しを防ぐことが出來ます、又柄杓は成るべく亞鉛製のを用ひ其內側にニスかペンキで一合二合五合と印をつけて置けば水加減を見るに便利で料理用のスプーン匙類も豫じめ其容量を檢べて置けば酢醬油味淋等の加減をするに便利であります若し透明の硝子器にメートルガラス式の度を計つて置けば液体を量るため何かに便利なものであります

上何分の解決を與ふべしと懇々說諭を加へたるに彼等は其意を諒とし不穩の擧動に及ばず解散したり

●客引の窃盜　仁川の宿引中に好からぬ無賴漢のあることは人の知る所なるが客人の荷物を窃取して賭博に耽けり居るものあるに至りては言語同斷の極みと云ふべし仁川濱町白石旅館の宿引靜岡生れ勝間田

●豊作(二十)と云ふは海州居住の西山勘藏と云ふが去月二十四日群山丸にて木浦より海州に歸る途中豊吉も同船に乘り込み何んの弁のと云ひ寄り同人の隙を窺ひ衣服十數點を入れたる柳行李一個を窃取し直に群山に上陸して目星しきもののみ同地にて入質し尙ほ數點を持ち仁川に來り不相變賭博に身を持ち崩したる果て殘りの贓品狐の皮一枚及短靴一足を新町二丁目中西質店に入質したる所より仁川署刑事に感付かれ一昨日午後五時頃逮捕せられ取調べを受けたるが最初は口を塞いで事實を申立てざりしが嚴重なる取調べに終に包み切れず前記の事實を遂一自白に及びたりと

●感心なる少年　仁川本町四丁目後藤喜七方石井福二郞(十三)と云ふは一昨日午後五時頃同地靑物市場にて金三圓を拾ひ感心にも直ぐ警察に屆け出でたり

●韓妓の健康診斷　仁川朝鮮敷島の韓妓檢黴は一昨日午後執行せられたるが受檢者四十六名の中洗滌を要するもの一名あり病氣不參のもの一名ありたる外異狀なかりし

●一昨日の新町　一昨日新町遊廓に繰込みたる亞呆鳥の數は一百八名にして此費消高五百七十三圓七十三錢此內皆春樓の十九名九十圓三十六錢が最高なりしと

演藝界

▲永樂亭　は岡本美根松一座の源氏節に新內、落語を加へ大切りには所作事を演ずる筈語り物左の如し

小栗判官(美根子)鈴木主水(美根鶴)落語(桂文三)大岡政談(美根松)新內(千太夫)由良港(美根由)

▲歌舞伎座　旭町歌舞伎座田宮貞雄一座は非常の好人氣なるが今日の替りは血櫻茂兵衛にして役割左の如し

子分仙太(中村)茂兵衛子分文次(小柳)和尙大五郞(篠田)丹地熊雄(阿部)下女た峯(荻原)藝妓小秀(小堀)齊生淸水(東鄕)れ虎ばゞ高山)子分淸二(大山)柳澤梅雲(松村)血櫻茂兵衛(田宮)

●花柳春談　似合の花較べ（九）

伊豫之守

▲れ民された玉　飛んだは人玉怖はいは眼の玉と名も一寸能く似た上年齡からきては腕前に至る迄似寄つた好一對と存じ候、尤も容貌は花月の民君の方遙かに優れ居り候、民君は曾て仁川の淺岡、鱗の二樓で鐵名を歌はれし流行妓にして器量の美き上に藝もあり、殊に其眞面目な態度は犯すべからざる品格を添へて床かしき限りに候而かも其溫順しき顏に靨よく配合された凉しき眼元を惡爽子宜しくとも云ふべく下り眼に笑ふ時の愛嬌ッたら又格別に御座候、是れ位褒めて進ぜは少々位の惡口は罪とも成り申間敷候得は一寸はかり申上候　元來此人は衣裳道樂にして美しき衣裳や貴重なる裝飾品を價よ爲めには何物をも犧牲に供す

寶の灰

筆者病氣に付本日休載

るてふ虛榮心の强き事は誠に現代ハイカラ婦人のの標本とも申すべくされば此妓には數年以前より二世と契りし大切の情夫のあるにも拘はらず某紳士の手活の花となりて散々齊を絞りたる上再び元の藝妓となり而かも今尙ほ情夫との手は切れざるに近々又もや某紳士に落籍さるゝ由に候、此行爲が即はち民君の缺點に御座候、人間は何時迄も若き物に非ず彼の金色夜叉のれ宮は榮譽の爲めに最愛の夫を棄て而かも榮華を極むると共に棄てたる夫の爲めに煩悶し遂に一生の悲境に終りしに非ずや寶に愼むべきは虛榮の二字に候、イヤ是れは飛んでもない處へ筆路を走らして失敬致候次に玉君は淸華亭切つての腕利き容貌は民君の如く美ならざるも藝も廣く其上溫順なる性質にして他人に對しても頗る優さしく朋輩間の信賴も最も深き樣子に候、聞く京城大料理店中淸華亭の藝妓部屋程亂雜なるはなしさ、然るに此の亂雜なるが中に獨り玉君のみ超然として萬綠叢中紅一點の眺めありと聞き及び候……次は梅之助に櫂太……

●韓語獨習

日語　韓語

日本より來る手紙を待つて居ります　イルボンソ、オヌン、ピョンヂル、キダリオプニダ

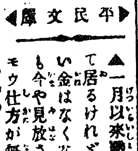
手紙を何某にやりました　ピョンヂル、アムケ、ハンチー、ポネッソ

郵便切手を貼るのですか　ウピョル、プッチヌンゴシヨ

六錢貼らねばなりません　ユクチョヌ、プーチョヤ、ハゲッソ

葉書を郵便函に入れて來い　ヨプソル、ウチェハメヌオラ

書留めにしてください　ツンキロ、ハヨチユーシヨ



◀平民文庫▶

▲一月以來職を求めて居るけれど職がない金はなくなる食にも今や見放され相だモウ仕方が無い窃盜でもするより外はない(失職者)▲食へ無いからとて盜賊する奴は意氣地なしだ少くとも乞食を爲す底の決心と勇猛心のない奴だ生命を繫ぐだけの食は吾輩の家の厨裡にもあるぞ此の馬鹿野郞緊かりしろ(小僧)▲韓國で當てにならぬ無いもの種々わりますけれど天氣豫報と統監の辭職沙汰と一進會の活動開始とに及ぶものはない(觀測子)▲イケさん二十三日午后七時モヘまで御足勞を(クミ)▲御厚情の諸君に伺ひます、韓國の普通文官試驗課目を敎へて下さい但し是れ

齒科診療

東京醫科大學專攻　統監府囑託齒科醫

南山町巴城館上隣　自午前八時至午後五時

飯塚徹

電話千百四十番　開通

●本邦織布の成績表

會社名	種類	出來高
大坊	天竺粗布金巾金巾寀齋 シーチング	五、〇六三、三九
天滿	厚織綾木棉	五八、九五
三重	天竺金巾粗布 金巾綾木棉	一三、三〇、四、五四、二七
富士瓦斯		一、〇四一、七三
日本製布	綿ネル生地	八六、八〇八
鐘淵	シーチング	一三三、七三

天氣豫報

(自廿二日午後六時至廿三日午後六時)

南西の風晴

廿一日　最高溫度　六三、一　最低溫度　四四、五（華氏）

(小僧禪寺老衲)▲や已頓念了法疾く(引つ立ね(小僧禪寺老衲)▲れがく師弟の緣も此れ限り目通り叶はぬ僧が引受けて見たい(小僧禪寺院代)▲や已する(保)▲れ初ちやんの幽靈なら僕イヤ拙こそ邪だから以後樓上の僕君に沈默を强制若し一念疑つて化けてでも出られたら失禮で少なからず怨まれて居るのですから御発數る、のみならず私の處さは目も鼻もります先方は賢りものだ面白半分の揶揄はエーれ次ぎの番だよ(樓上の僕)▲何うも困ー主にも少し位罪があるよだコリヤコリヤよがチナンテッチントンシャン、ヘツウキよ、チー君、私しが惡るけりや謝罪りまし懸か都合によれば南京虫も取らねばならぬつたと云つたらだが朝鮮に居ては半風子は君よ其樣に力味返ることはないダニでも取敢て問ふ(本町七日本男子)▲れ初君の情夫が起る統監府たるもの何んと之れを見るかあり日本人たるもの之れを見て如何なる感方に日本旗を見るか見ねかに結び付け引き上方第一番に韓國旗次に米國旗一番下徒の運動會あり大國旗竿が立て三方に綱を忠塚谷に於て韓人何學校か知らぬが職員生御垂示下さい(東北の日光)▲去る廿一日奬迄施行せし課目で宜しうムいます當欄にて

廣告

●永興警察署廳舍及警部官舍新築工事　右五月十一日入札ニ附ス詳細ハ廿二日以後ノ官報又ハ當所若クハ釜山、元山出張所ノ掲示ヲ見ヨ

建築所

●龍岩浦警察署廳舍其他修繕及警部官舍新築工事　右五月七日入札ニ附ス詳細ハ廿二日以後ノ官報又ハ當所若クハ平壤財務監督局、新義州稅關支署ノ揭示ヲ見ヨ

建築所

購買公告

平壤水道工事用

一砂利九百六十立方

一栗石三百三十七立方米突

一淸砂六百三十立方米突

右購買ス入札希望ノ者ハ四月二十三日ノ官報又ハ本局及平壤水道事務所ノ揭示ヲ見ルベシ

隆熙三年四月二十二日

内部土木局

木材購買入札廣告

一杉角六十四本外二十點

右競爭入札ニ付ス供給希望ノモノハ本月二十二日ノ官報ヲ見ルベシ

隆熙三年四月二十日

内部土木局

各種洗濯石鹼專門製造販賣

用途　陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、鐵工、諸工業用

京城旭町二丁目

(電話九七三番)

朝日石鹼製造所



開店五週年に付大賣出し

謹啓陳者時下陽春の候各位益々御淸榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命御付下され度偏に奉希上候

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町二丁目
桂萬吉

豫約募集

本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載す

京城理事廳認可

朝鮮紳士録

定價　金五圓　總クロース金文字入
豫約特價前金壹部　金參圓
申込締切期日　六月十五日
送本期日　七月五日
登載事項　政治家、軍人、官吏、實業家、工業家、美術家、醫師、辯護士、敎育家、宗敎家、新聞記者、會社、學會、寺院、倶樂部、組合

發行所　京城西小門通り　京城新報社

豫約申込所

南大門通　日韓書房
中署罷朝橋邊　大盛堂
中署廣橋東邊　大東書林
北署安洞　中央書館
新王城前　韓英書館
本町二丁目　義盛號

本紳士錄(交詢社式)には韓國在住の日韓淸英米佛獨其他各地紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからざる要書に有之候

豫約募集

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る●

新燃料 用燃料 **無煙煉炭**
（特色）用途 溫突、鐵、暖爐、竈用に適す
●省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
京城特約店
京城南大門通 電話六〇三番
巴商會
韓國一手販賣 二丁目

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社（一二二一）
一年齡二十歲身体强壯高等小學校卒業家内の少き内に於て餘暇裁縫教授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ（一二三三）

被雇確實 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社（一二二二）
雇(?)儉事業を求む年廿三身体頗强壯軍隊出射擊術に通ず報酬を不望（衣食に差支へなき限り） 氏名在社（一二二四）
年廿才玉突ボーイに雇はれたし持點數百二十以上龍山大島町新玉軒にて津田（一二二七）
看護婦募集す志望の方は至急申込あれ 明治町惠愛看護婦會
看護婦三名入用 南山町二 松岡醫院
給仕に雇はれたし 氏名在社（一二二八）

物件部

賣家 大和町三丁目旭百餘坪の建物あり官衙向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社内 矢島
貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附（又は賄附にても）にて二間貸したし 氏名在社（一二二五）
賄付(?)下宿 日本商尾中斷し従來使用中の者盜難にかゝれり心當りの報の者へは謝禮 龍山鐵道官舍八十八號前 丸山（一二三一）

廣告

●●**賣家**●●
龍山旭橋通り
一、瓦二階及平屋 取まぜ三十三坪
間數十四造作付 外に空地あり
但旅館用道具共一切御相談に應ず
右賣却す望の方は御來談被下度候
龍山丸万旅館
電話開通 一一二番

青々園
風味淳味 賣價の三者を兼備す
正銘宇治茶 京都の茶器
故に尤も進物用に適當なり
茶及茶器商 京城本町四丁目 **青々園茶舖**

九州セメント
今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候
京城南山町一丁目電話三四四番 **山村商店**
龍山元町二丁目電話三二二番 **林藥店**

電話開通 **一〇五九番**
京城長谷川町 **本派本願寺假出張所**

（ふだんは一厘一毛たまけ申さぬその代り）
●季節物御披露**賣出し**（廿三日より廿七日まで）**五日間**
英チルかすり唐ちり
一反 御召チル 五、〇〇〇 縮緬チル 四、八〇〇
一反 ジュン毛 五、〇〇〇 コンメン 二、五〇〇
一反 久留米絣 二、四〇〇 久留米絣 二、〇〇〇
一反 中こく絣 二、〇〇〇 香久山絣 一、五〇〇
一反 ゆうせん 〇、二〇〇 絹入モス 一、四〇〇
尺 縮緬モス 〇、二五〇 格子モス 〇、三〇〇
薄チル 英メン 五、〇〇〇 一丈
伊豫絣 一、八〇〇 半物
東雲絣 二、〇〇〇 以上
色モス 〇、一六〇 色々
新モス 〇、〇六〇 切り
ほかの見切物 なる胴巻反物つりきれは極々安直を紅寿し紅寄なきは正札より一割引
和洋太物店の **丸一**（京城本町三丁目 電話六三五）
（御し直段よりもズントれ働きをして居升）（がうい ふ時に）（入合せとしてて）

電話開通 **千百三十七番**
廿錢均一にして毎夜無休 夕方より興を求むるには京城座に限る 見るは道樂試に御覽なさい
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
京城座

電話開通 **九百十九番**
キッド深ゴム 八圓
ボークス深ゴム 七圓五十錢
一枚皮裁一枚皮 五圓五十錢
半ボークス深ゴム 五圓五十錢
京城本町一丁目 電話九百十九番 **富田製靴本店**
同 本町六丁目 **同第一支店**
同 南大門外 **同第二支店**
地方よりの注文は御一報次第代金引替にて郵送致し若し御足に合ざる節は何時にても御取替申すべく候

電話開通 **千百五十二番**
京城本町一丁目
和洋紙文房具 諸帳簿諸印刷
北内商店

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮（電話三九八番）

眼科 内科 外科（入院 隨意）
南山町二丁目 植村病院跡
松岡醫院
電話六七五番

高等待合 **紅葉**
京城南大門通三丁目 起業會社筋向
設備の不行屆と衣室の清潔ならざるは場所の適當なると御愛嬌とを以て償ひ得て餘りありと存候

◎開業◎
會席御料理 御利附一人前 金五十錢
今般左記へ開業仕至極輕便御手輕に致します何卒御引立の程を
京城壽町三丁目（中島病院前）
水津

諸傘並に提灯類 印入
和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

肴四品（但一品はずし）ビール一本 金一圓
頗るハイカラの酌婦付
明治町二丁目 富士材木店横入
島敷

銘茶おいしい 西村屋茶舖（?）

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十一番戸横小路（元花屋跡）
かめ屋
▲懇切の下宿▼

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通 株式會社**十八銀行**京城支店（電話四二〇）
本店 長崎市榮町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、鎮南浦、群山、釜山、馬山 日本 大阪、熊本、佐世保、五島、壹岐
韓國其他日本、韓國各地、支那、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口拾錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

龍山 萬長旅館
東山の手新町
電話四〇〇番

營業科目
活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝訂
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕從前ノ營業繼續致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三三三番）
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

特約販賣 自製
（大）（命）（薫）
漬物 味噌 醤油 製造元
和洋酒、⊙の精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
御注文に依り商品切手調進仕候
京城本町五丁目
水上商店（電話二一五番）

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗
G.D. 印トルコ金口煙草（百本入 十本入）
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元 仁川本町一丁目
トルコ煙草商會（電話七一五番）

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

新疊表調達 竹中彦次郎
各官衙御用達 京城旭町三丁目

●**為替取組先**
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾(?)、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、徳山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、周山、
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、徳島、洲本、撫養、鶴島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、椎田、寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、平(?)崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
韓國 釜山、仁川、群山、木浦、元山、城津、鎮南浦、平壤、京城
清國 天津、大連、營口、旅順
外一般銀行、郵便貯金、為替取扱可候
株式會社 **百三十銀行** 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

合花 京城南山町一 病院前 電話一五二番

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 **郡回漕店** 電話三九番
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 五月九日午後三時出帆
●大連、芝罘、牛莊行 高砂丸 四月日正午時出帆
●大連、芝罘、牛莊行 山東丸 四月二十七日前五時出帆
●大連、芝罘、牛莊行 酒田丸 五月十三日正午出帆
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月二十八日
御注意 御乘船ノ際ハ税関波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ス

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金四十五錢 三ヶ月…
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢 四號活字十九字詰一行六十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三